

<プログラムのハイライト>

●特別講演 I (10月26日 11:00~12:00)

いよいよ放射線測定の信頼性確保の義務化に関し、令和5年10月の施行が迫っています。最新の放射線規制の動向を原子力規制庁の担当官の方に解説いただきます。

●特別講演 II (10月26日 15:00~16:00)

日本アイソトープ協会の千葉晋平氏、鈴木健二氏より、「日本アイソトープ協会における廃棄事業の現状」についてご講演いただきます。協会による放射性廃棄物の集荷があることで、放射線取扱施設は運営ができます。このため、放射線管理の実務をされている方にとって、廃棄物の集荷とその管理、使用済みとなった密封線源の引取・回収の現状はとても興味深いトピックと思います。

●特別講演 III (10月26日 16:10~17:10)

東京大学宇宙線研究所の竹田敦氏より、「宇宙天体素粒子研究における放射線利用」についてご講演いただきます。放射線管理の実務をしていると、放射線を利用するの学術成果の話を知るとワクワクします。皆様が放射線にかかわるきっかけになったのはレントゲン教授によるX線の発見、キュリー夫妻によるラジウムの発見などの話かもしれません。放射線の利用が開いてきた科学の歴史を踏まえて、最先端の宇宙天体素粒子研究の講演は今後の励みなるものと思います。

●シンポジウム I (10月27日 9:30~10:50)

放射線の安全取扱と管理は放射線の利用者があってこそのもので、今後も継続して放射線の安全取扱と管理を継承していくためには、新たな利用者の育成が欠かせません。そこで、「未来社会に向けた先進的原子力教育コンソーシアム (ANEC) を活用した放射線人材教育の取り組み」についてご講演いただきます。放射線を利用する人材の育成と現在話題となっているSTEAM教育手法の放射線教育への利用の例は各施設での人材育成、教育に寄与できるものと思います。

●シンポジウム II (10月27日 11:00~12:20)

令和5年10月の施行、放射線測定の信頼性確保の義務化についての講演として「準備完了!? 信頼性確保に向けた予防規程変更と機器の点検・校正」を企画しております。予防規程の改正例、保健物理学会での検討報告書の紹介と対応例、点検・校正の概要と具体例をもとにご講演をいただき、その後の総合討論にてより理解が深められるものと思います。

●ポスター発表 (10月26日 13:00~15:00)

参加者の皆様より、放射線管理についての研究発表、改善発表、提案などを受け付け、その発表の場を設けます。全国より、同じ志を持つ放射線施設の管理者、放射線取扱主任者との意見交換を通して、情報共有と理解を深める場となることと思います。

●相談コーナー (10月26日 12:10~14:40)

放射線管理業務における疑問やお困りごとなどについてご相談をお受けいたします。事前申込制で、放射線管理・安全取扱、法令、RI供給・廃棄など幅広い分野に対応できます。

●機器展示 (10月26日、27日)

放射線関連サービス会社、製品メーカーによる機器展示を行います。各企業の最新情報を知ることができる貴重な機会です。